 海域	経過	東北海区沿岸水温予報現況(2月上旬~	見通し	見通しの背景	特異現象
144/05	(12~1月)	2月中旬)	(3~4月)	元型しい月景	(漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:12月 はやや低め〜か平年並み、1 月は平年並み〜やや高めで推移した。 ・12月の海洋観測の結果、津軽暖流域の0m及び50m層最高水温は平年並み、100m層でやや低めであった。また、津軽暖流の水塊深度はや平年並み、東方への張り出しははなはだ東偏であった。	・定地水温: 平年並み〜や や高めで推移。 ・2月の日本海海洋観測の 結果、対馬暖流域の最高水 温は各層共にやや高めで あった。	・津軽暖流域の水温は 平年並み〜やや高めで 推移する。	・直近の太平洋沿岸定地水温、日本海海洋観測結果が「やや高め」であり、太平洋および我が国周辺の漁海況予測システムFRA-ROMSで、沿岸域は同様の傾向が持続すると予測される。 ・気象庁の季節予報によると、3~4月の気温は高めと予報されている。	
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	12月【観測日:11/26~11/27】 《表面水温》 10海里以内は13~16℃台であり、県北部及び県南部でやや高め~高めであった。 10海里以遠は、県南部沖の20~30海里で高め~極めて高めであった。 《100m深》 10海里以内は県北部から県南部でやや高めであった。 10海里以遠は、県南部沖の30~40海里で高めであった。 ※1月観測は調査船定期検査のため未実施。	2月【観測日:2/7、2/12~2/13】 《表面水温》 10海里以内は7~8℃台であり、全域で平年並みであった。 10海里以遠は、県北部沖から県南部沖でやや高め~高めであった。 《100m深》 10海里以内は県中部沖から県南部沖でやや高めであった。 10海里以遠は、県北部の沿岸域を除きやや高めであった。	3月は、100m深水温は 県中部から県南部沖合 域でやや高め、各0海里 定点の10m深はトドケ 埼、尾埼、椿島でやや 高めと予測。	農林水産省「食料生産地域 再生のための先端技術展 開事業」において開発した 水温経験的予測システムを 用いて解析した。	12月中旬の、 県内主要6港 の場量(1,421トンで、前過去5年比4.9倍、過過去5年比4.8倍となった。 また、サバ電場(2,433トンで、前過は2,433トンで、前過は2,433トンで係、過去5年比7.9倍となった。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	《100m》 【12月】 38°N,142°E付近に冷水がありや や低め,142°30′E以東はやや高 め。 【1月】 38°30′N,142°10′E付近 が局所的に1℃程度低めだが,全体 的に平年並み。	≪100m≫ 38°30′N以北,142°E付 近でやや低く、それ以外の 海域で平年並。	≪100m≫ 【3月】 142°30′以東,38° 30′以北はやや高め、その他海域は平年並。 【4月】 142°30′以東,38° 50′ラインはやや高め、その他海域は平年並。	自己回帰係数固定モデル による。	
常磐北部(福島県沿岸;福島水七発表)	《100m深水温》 【12月】 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」、 県中:沿岸、沖合ともに「平年並み」 【1月】 ※欠測 ※県北:37°50'N、県中:37°25'N、 県南:37°00'N、 沿岸:142°00'E以西、沖合: 142°15'E以東	《100m深水温》 【2月】 県北:沿岸は「やや高め」、 沖合は欠測 県中:沿岸は「やや高め」、 沖合は欠測 県南:沿岸は「高め」、沖合 は欠測	【3月】 「平年並み」か、「平年より高め」で推移する。 【4月】 「平年並み」か、「平年より高め」で推移する。	水温経験的予測システムの自己回帰モデルを用いた水温で開いた水温によると、3月、4月ともに100m深水温は「平年並み」、もしくは「高め」基調で推移する。また、気象庁の海面水温・海流1か月予報(2月10日発表)によるようの海面が、温いから、3月10日までの本が、144°E付近」になり、「下A・RA・ROMS発表の全が100m深予測水温によっから、3月の石をから、4月上旬にから、5下RA・ROMS発表のと31月でも黒水の海温によっかり、1と予測水温による水温は平年並りから、3月の石を表のとのでも異常であり、4月上旬にはよったり、4月上旬にはよったり、4月上旬でも黒潮系暖水の傾向は続くと思潮系したが、この傾向は続くと思潮により高め、3月から4月にから、3月から4月にから、3月から4月にから、3月から4月にから、3月から4月にから、3月から4月にから、3月から4月にからを予測した。	
常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	【12月】 黒潮から暖水が波及し、全層で概ね 「平年並み~高め」であったが、 100m深では「極めて高め」も見られ た。「高め」や極めて高め」は主に南 部および沖合で見られた。 1月:前月から断続的に暖水波及が 続き、全層で「平年並~やや高め」	黒潮からの暖水の波及が続き、水温は概ね全層で「平年並~やや高め」で、一部では「高め」も見られた。	「平年並~やや高め」で 推移し、一部で「高め」と なる。	①FRA-ROMSによると、沿岸域の水温は、3月上旬は表層・100m深ともに概ね「平年並~高め」だが一部で「高め」、4月上旬は表層・100m深ともに「平年並~やや高め」で推移するとの予測であった。	①12月のシラス水揚げ量か 163トンとなり、1991年以降で最も多かった。 ②1月の那五湊定地水温

だった。	また、親潮第一分枝の先端	りの平均値が
	が三陸沖でとどまり、茨城県	
	沖まで南下しない予測であ	
	った。	で最も高かっ
	②黒潮の一時的な離接片	: た。
	変動に伴い、暖水波及が発	③ 2 月 13
	生する可能性がある。	日,那珂湊漁
	③以上より, 今後の沿岸	: 港でコショウ
	水温は「平年並~やや高	ダイが1タル
	め」で推移し,一部で「福	分(約20kg)
	め」となると予測した。	水揚げされ
		た。

各階級	の水温平年偏差の	範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸 10 海里内	距岸 10~70 海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃~	+3.7°C∼	+5.8℃~	+5.7℃~	+4.8°C∼	+6.1°C∼
高い (7.5%)	+2.0∼+3.0°C	+2.4∼+3.6°C	+3.8∼+5.7°C	+3.7∼+5.6°C	+3.1∼+4.7°C	+4.0∼+6.0°C
やや高い (20%)	+0.8∼+1.9°C	+1.0∼+2.3°C	+1.5∼+3.7°C	+1.5∼+3.6°C	+1.2∼+3.0°C	+1.6∼+3.9°C
平年並 (40%)	+0.7∼-0.7°C	+0.9∼-0.9℃	+1.4∼-1.4°C	+1.4∼-1.4°C	+1.1∼-1.1℃	+1.5∼-1.5℃
やや低い (20%)	-0.8∼-1.9℃	-1.0∼-2.3°C	-1.5~-3.7°C	-1.5∼-3.6℃	-1.2∼-3.0℃	-1.6∼-3.9℃
低い (7.5%)	-2.0∼-3.0°C	-2.4∼-3.6°C	-3.8∼-5.7℃	-3.7∼-5.6℃	-3.1∼-4.7°C	-4.0∼-6.0°C
極めて低い(2.5%)	-3.1℃~	-3.7℃~	-5.8℃~	-5.7°C∼	-4.8℃~	-6.1℃~